

丸山直文 Naofumi MARUYAMA

2018年の個展ではそぎ落とされた静謐なモノクロの絵画群を発表した丸山直文が、今回は色彩溢れる新作を制作しました。いずれも柔らかな空気がそこに存在し続けるような画面が印象的な作品です。従来作品にも増して特定の対象に対する焦点の当て方に意識的な新作は、モチーフの物理的な存在感を超越しているようです。

[丸山直文 インタビュー動画](#)

**紫色の湖**

2020
acrylic on cotton
91 × 65.2cm

丸山直文 Naofumi MARUYAMA



木立の中のテント

2020
acrylic on cotton
91 × 72.7cm

